

連載26

## そして音楽の旅は続く 音楽の他にも、きつい悩みはありました。

ジャズボーカリスト  
星乃けい

official website  
<https://www.hoshinokei.com>

今は歳を取っていつもヘラヘラ笑っていますが、若いYAMAHA時代も東芝EMI時代もアーティストの私は笑うことが本当に少なく、周りからは生意気だと言われていました。若い時は感情がもろに顔に出ていたようです。北九州市の小さな町から生き馬の目を抜く東京に18歳で一人で上京し、音楽業界で生きてゆく…おのずとガードも硬くなりますよね。周りはこの業界の酸いも甘いも噛み分けた大人達ばかりなので、騙されないように踊らされないようにと、小心者の私はいつも心に鎧(よろい)を着ていました。歌をずっと唄っていたというのが譲れない唯一の信念でしたから、何かの判断を迫られたときは「これって、唄うことに必要?いや、必要じゃないかも?」と鎧の中でいつも考えたものでした。

一番の悩みは音楽的な部分ではなく、実は他にありました。〇〇大賞の審査員とか大手企業の社長とか〇〇プロデューサーなどの権力を持った方々とのお付き合いには、どんな方なのか細心の注意を払わなければなりません。今の私からは想像できないかもしれませんが、若い頃は痩せてスマートだったので…その辺のことはご想像にお任せ致します。いろいろ



ろサポートして下さる方には信頼して素直についていきましたが、中には「ちょっとそういうことは無理!」という注文を出す方もいらして。そういう時、若い私は上手く立ち回ることができなかったのも、ピンときた瞬間にムツとしちゃって、笑うどころか鎧に槍までおまけに付いて相当に感じ悪かったと思います。こういう事には仲介者が居るのですが、私がまったく言うことを聞かない時はきつと頭にきただろうなーハハハ〜だ!

それに加えて、雑誌の撮影も悩みの種でした。特に男性誌の撮影にはいつも最強の鎧で挑みました。普段、男性誌を見ることはないけれどグラビアはヌード写真だらけですよ。絶対にヌードはやらない!と戦闘モードで撮影をこなしていました。ある日の撮影場所はホテルの部屋、マネージャーも抜きでカメラマンと二人きり。ベッドに腰かけてブラウスのボタンを一つ外してと言われて外すと

「あー綺麗だね〜。じゃあもう一つボタンを外して」って。悪いけれど私は踊らされませんよ!と意思をハッキリ伝えたかったけれど「ごめんなさい、出来ませーん」と逃げ帰る始末でした。スタッフの皆様、ボツになってすみませんでしたね。あれもこれも上手く立ち回れば今と違った人生があって、それはそれで良かったかもしれませんが、今でも唄ってられるこの生き方に大満足をしているので正解だったかもしれませんね。EMIでヒット曲が出て、ゴールドディスクも貰って順風満帆でしたが、こういった小さな幸運が少しずつ届き始めたころ、さらに嬉しいニュースが届きました。アルバムを発売してくれるって!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される